

筑波大学 vs 慶應義塾大学

4月27日(日)
11:30K.O.
味スタ西

4試合を戦って2分2敗と苦しんでいる筑波大。前節の国士大戦は0-3の敗戦だったが、特に深刻なのはここまで1得点の攻撃面だ。前節も、「攻撃のところでしっかりと決めきらなければいけなかった。それができていたら結果はわからなかった。反省するところは反省して、改善していかなければいけない」(中山雅雄監督)

相手の6本を上回る8本のシュートを打ちながら、相手は3ゴール、筑波大は無得点。ボール保持率でも上回っていたが、それを得点に結びつけることができなかった。しかし、決して悲観する内容ではない。

「結果は出なかったが、試合を積み上げているなかでチャンスは広がってきた。最後の崩しのところを工夫したり、判断を早くしなければならなかった。自分たちがしっかりとゲームをコントロールして、相手を圧倒できるサッカーを目指している、どのような相手でもそれができるように継続してやっていきたい。点を入れないことには勝てないので、とにかく点を決めて勝てるように全力で戦いたい」(中山監督)

圧倒的な強さを見せた専大に引き分けた慶大。後半のアドレナショナルタイムで同点に追いついた粘り強さが、

今年の慶大を象徴しているといえるだろう。「最後まで強い気持ちを持ってやって、同点に追いつけたのですごくいいゲームだった」(須田芳正監督)

2失点したものの、「自分たちがやってきた守備はしっかりとできた」(須田監督)

欲をいえば、3点目を奪って勝利につなげたい試合でもあっただけに、ボールを取ったあとのカウンターの質をさらに上げて、勝ち切りたい。

昨年の対戦：前期/筑波大1-2慶大、後期/筑波大3-0慶大

筑波大				慶大			
8. 早川	10. 中野嘉	8. 山浦	3. 溝渕				
7. 車屋	28. 北川	15. 宮地	6. 望月				
6. 片岡		25. 小坂					
30. 有賀		1. 峯					
31. 三宅		29. 浅間					
5. 西村	29. 中野誠	26. 加瀬澤	5. 並木				
34. 浅岡	11. 高柳	11. 増田	4. 保田				

明治大学 vs 順天堂大学

4月27日(日)
13:50K.O.
味スタ西

今シーズン、苦しい戦いが続いている明大だが、前節の駒大戦は2-0の勝利。

「連敗できない状況のなか、勝ててよかった」(神川明彦監督)

ただ、試合内容に目を移すと楽観視はできない。2点を奪ったものの、「サイドの幅を使った攻撃ができていない。セットプレーのチャンスも多くあったのに、いい形で生かせなかったことが課題」(神川監督)

それでも、ここまで無得点だった藤本佳希(3年)によりやくゴールが生まれたのは明るい材料。また、駒大の力強い攻撃にもしっかりと対応し、無失点に抑えたことは浮上のキッカケになるはずだ。

「順大は守備が堅い。90分間、粘り強く戦わないと勝てない相手だと思う。幅をうまく使った攻撃をする必要がある」(神川監督)

前節の桐蔭大戦も4-1の勝利を収めた順大は、ここまで3勝1分。

「まだ負けていないなかで、大事な試合であることは選手もわかっていただろう。ただ、チームのコンセプトがまっとうできなかった。その点は選手も反省している

し、修正していく点も多いと感じている」(岡崎孝幸コーチ)

今シーズンは守備の部分を徹底し、いかに高い位置でボールを奪うかをコンセプトに置いて戦ってきているが、自分たちの持ち味を発揮できなかった。

「勝利は大事だが、それ以上にコンセプトを全員でまっとうすることが重要で、そうすれば結果はついてくる。高い位置でボールを奪って、早く攻めるということをもっと徹底して、勝利につなげたい」(岡崎コーチ)

昨年の対戦：前期/明大4-1順大、後期/明大0-0順大

明大				順大			
6. 高橋	8. 石原	23. 新里	3. 吉永				
13. 小池	9. 矢島	5. 新井					
17. 小谷		7. 内山					
1. 三浦		20. 佐野	21. 大畑				
7. 差波		10. 長谷川竜	6. 長谷川涼				
3. 山越	18. 苅部	4. 谷奥					
2. 室屋	11. 藤本	22. 米田	13. 宮本				

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.5 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が慶大に引き分け大混戦に!

いよいよゴールデンウィークの突入だが、期間中、熱い戦いが繰り広げられそう。「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。前節の模様を簡単に振り返ろう。
首位を走る専大は、今シーズン好調の慶大と対戦。前半は両者譲らず0-0で折り返し、後半7分に専大が先制点、3分後には慶大が同点に追いつく白熱した展開となった。さらに3分後に専大が勝ち越し力を見せつけ、その後もボールを保持していたのは専大だったが、試合終了間際のアドレナショナルタイム2分に慶大が値千金のゴールを決めて2-2のドローで。専大の連勝は3でストップしたとともに、慶大の粘りが光った試合だった。
順大は桐蔭大とのゲーム。前半36分に先制点を奪うと前半だけで3得点。後半にも1点を加え、1失点したものの4-1で勝利を収めた。ただ、試合内容的には反省点も多く、桐蔭大がチャンス逃してなければ勝負の行方はわからなかったといえるだろう。桐蔭大にとっては、最下位を脱出するチャンス逃した格好だ。
早大vs中大は一進一退の好ゲーム。後半24分に早大が先制点を奪ったが、2分後に中大が追いつく展開。しかし、35分に早大が勝ち越しゴールを奪って試合を決めた。早大はピタリと首位・専大を追い、中大はいまだ勝点1と苦しんでいる。
流経大と東国大のゲームは流経大が1-0とリードして前半を折り返したが、後半は一気に乱打戦。後半の立ち上がりから4分、14分、19分と東国

得点ランキング

近藤 貴司 (早大)	4点
長谷川涼太 (順大)	3点
山根 視来 (桐蔭大)	3点
前澤 甲気 (専大)	3点
北出 雄星 (専大)	3点

アシストランキング

北出 雄星 (専大)	3アシスト
仲川 輝人 (専大)	3アシスト
以下2アシスト5名	

大がゴールを奪って3-1と逆転。試合を優位に進めたが、その後、28分から13分間で流経大が3得点と逆転に成功。4-3で東国大を振り切り、首位・専大との勝点差は1ポイントと好位置につけている。一方、東国大は好ゲームを展開しながら勝点1の10位と苦しんでいる。
国士大と筑波大の一戦は、国士大が3-0で筑波大を下した。筑波大は国士大の激しいプレスに苦しみ、思うように試合を進めることができなかった。
互いに苦しい戦いが続いていた明大と駒大の一戦は、明大が終盤優位に試合を進め2-0で完封勝利。勝点を6に伸ばした。駒大は11位と低迷。
専大が引き分けたため、勝点10で専大、順大、早大が並ぶ大混戦。さらに流経大、国士大、慶大が僅差で続く。例年以上に大混戦となっているだけに、ゴールデンウィークを各チームがどのように乗り切るのが注目だ!

JR東日本カップ2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	順大	早大	流経大	国士大	慶大	明大	筑波大	中大	東国大	駒大	桐蔭大	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失差	勝点
1	専大		5月5日	6月15日	5月2日	5月10日	2△2	5月24日	5月17日	4月27日	200	600	502	4	3	1	0	15	4	11	10
2	順大	フクアリ		0△0	301	5月2日	5月10日	4月27日	200	6月15日	5月24日	5月17日	401	4	3	1	0	9	2	7	10
3	早大	味フィ西	0△0		5月10日	5月18日	5月6日	5月3日	5月25日	201	200	301	4月26日	4	3	1	0	7	2	5	10
4	流経大	江戸陸	1●3	たつこ		5月5日	5月18日	100	6月14日	100	403	4月26日	5月24日	4	3	0	1	7	6	1	9
5	国士大	味フィ西	江戸陸	味スタ西	たつこ		0△0	6月14日	300	5月24日	4月26日	2△2	100	4	2	2	0	6	2	4	8
6	慶大	2△2	フクアリ	味フィ西	たつこ	0△0		200	4月27日	201	5月3日	5月24日	6月15日	4	2	2	0	6	3	3	8
7	明大	川口	味スタ西	味スタ西	0●1	味フィ西	0●2		5月10日	5月18日	5月6日	200	401	4	2	0	2	6	4	2	6
8	筑波大	たつこ	0●2	BMWス	味フィ西	0●3	味スタ西	味フィ西		0△0	1△1	5月6日	5月2日	4	0	2	2	1	6	-5	2
9	中大	三ツ沢陸上	味フィ西	1●2	0●1	川口	1●2	味スタ西	0△0		5月10日	5月2日	5月5日	4	0	1	3	2	5	-3	1
10	東国大	0●2	千葉東総	0●2	3●4	多摩	BMWス	味フィ西	1△1	フクアリ		6月15日	5月17日	4	0	1	3	4	9	-5	1
11	駒大	0●6	ゼットイー	1●3	多摩	2△2	たつこ	0●2	駒沢陸上	三ツ沢陸上	古河		5月10日	4	0	1	3	3	13	-10	1
12	桐蔭大	2●5	1●4	古河	たつこ	0●1	古河	1●4	三ツ沢陸上	夢の島	たつこ	保土ヶ谷		4	0	0	4	4	14	-10	0

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

成功も失敗も、自分が決める。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

流通経済大学 vs 駒澤大学

4月26日(土)
11:30K.O.
多摩

前節、東国大を4-3で下し、首位・専大に勝点差で1ポイントに迫った流経大だが、「勝ってもあまりうれしくない試合だった」と、中野雄二監督は険しい表情。前半に1点を奪って1-0のリードで迎えた後半だったが、「ハーフタイムに注意していたことだが、後半立ち上がりにPKを取られ、そこから1-3となってしまう。その間の集中力や修正の仕方、試合の入り方が悪かった。救いは3失点后、3点取れて勝てたこと」(中野監督) 2節で敗れた順大戦も、試合の入り方が悪くて後半の立ち上がり4分に失点してしまっただけに、慎重にゲームに入らなければいけないだろう。「課題ばかりの試合だった。セットプレーからの失点、PKの取られ方……。ポジショニングが悪いのだと思う」(中野監督) いかにも失点を減らすかが、優勝へのポイントだろう。ケガ人が続出で苦しんでいる駒大。0-2で敗れた前節の明大戦も、「ほとんど試合に出たことがない選手が何人か出場したなかでは、よく頑張ったと思う」と、秋田浩一監督も自分にいい聞かせるように話した。

「負けは負け。頑張っていたけれど、悔しい結果になった。ただ、2失点して以前はそこであきらめてしまっていたが、今日はあきらめずに1点取るという意識が見られた。やっと前向きになったと思う」(秋田監督) 試合を重ねるごとに手応えは得ているだけに、それを白星につなげたいところ。前節は前半のアディショナルタイムに失点してしまっただけに、そこで耐えられるようにしたい。

警告3回：富田湧也(流経大)
 昨年のリーグ戦での対戦はなし

流経大		駒大	
6. 富田	4. 鈴木	11. 小牧	13. 大木
	8. 西谷		5. 伊藤
25. 古波津		10. 板倉	
1. 中島	5. 川崎	9. 田上	28. 大谷
	10. 野口		17. 立石
		21. 積田	
	7. 森保	24. 児玉	
26. 藤原			4. 平尾
2. 湯澤		20. 久永	16. 柳川

早稲田大学 vs 桐蔭横浜大学

4月26日(土)
13:50K.O.
古河

前節の中大との一戦は、2-1で勝利を収めた早大。「何とか勝点3を取れた試合だった」(古賀聡監督) 今シーズン、なかなか結果が出ていない中大が相手だったが、内容は一進一退。前半は0-0で折り返した。「後半は積極的に前線から相手にプレッシャーをかけてボールを奪い、早い攻撃につなげられたことはよかった」(古賀監督) というように、後半に2点を奪って試合をモノにしたものの、先制点を奪ったわずか2分後に失点してしまった部分は改善しなければならないだろう。もっといえ、前半の戦いをさらに改善していかなければならないだろう。「前半に自分たちの強みを出せず、相手のスローなテンポに合わせてしまった」(古賀監督) これまでこういった試合で勝ちきれなかったり、首位が勝てなかったときに同じく付き合ってしまうことが多かった早大。ここで勝ち切れたのは大きな収穫だ。「過去2年は一度もリーグ戦中に首位に立っていないので、勝点3を積み重ねて首位に立てるように勝ちたい」(古賀監督) 4連敗中の桐蔭大。前節の順大戦も1-4と完敗だっ

ただに、八城修監督は厳しい表情だ。「3連敗している状況の中で、内容も悪い試合だったと思う。収穫はない。戦う姿勢が見られなかった。自分たちがいい状況でサッカーをやれていないということがわかっているにもかかわらず、それを打開しようという自分の判断を出そうとしないところがよくない点だ」(八城監督)

自信を失い、やや受け身になっている部分があるだけに、もう一度、自分たちのサッカーに立ち返りたい。
 昨年の対戦：前期/早大1-1桐蔭大、後期/早大2-3桐蔭大

早大		桐蔭大	
20. 平澤	14. 堀田	35. 岡本	11. 石堂
3. 田中進	11. 山内		4. 古澤
	6. 近藤洋		12. 金子
1. 松澤		10. 坪井	8. 山崎
	23. 園田		5. 大野
2. 奥山	15. 上形		3. 長谷
22. 新井	7. 近藤貴	7. 山根	18. 佐々木
		1. 土井	

国士舘大学 vs 東京国際大学

4月26日(土)
13:50K.O.
多摩

前節は筑波大を3-0で下した国士大だったが、試合内容はそれほど圧倒したわけではなかった。「2点目を取るまで、流れはどちらにくるかわからない試合だった」(細田三二監督) 相手にボールを保持される時間帯が長かったが、そこでしっかりと守備陣が耐え、それに応えるかのように攻撃陣が3得点。「平松宗(4年)がこれまでの試合で得点できず、本人も消化不良だったはずだが、この試合で2点を得意のヘディングで取れたことは、チームにとってはプラスになった。前期の約3分の1を戦って負けがないのはよかった」(細田監督) 一方で、優勝を狙うために反省も忘れない。「クサビやスルーパスを取ってからのつなぎが雑だった。東国大は侮れない相手。自分たちのサッカーをするように選手に伝え、準備したい」(細田監督) 1部昇格組の東国大が苦しんでいる。昨シーズンは2部で圧倒的な強さだったが、今シーズンはなかなか勝点を奪えない。力の差はないのだが、あと一步、勝ちきれない。前節の流経大戦も前半を0-1とリードされたが、後半に3ゴールを奪って一時は逆転。しかし、そこ

から3失点してしまっただけに、慎重にゲームに入らなければいけないだろう。「課題ばかりの試合だった。セットプレーからの失点、PKの取られ方……。ポジショニングが悪いのだと思う」(中野監督) いかにも失点を減らすかが、優勝へのポイントだろう。ケガ人が続出で苦しんでいる駒大。0-2で敗れた前節の明大戦も、「ほとんど試合に出たことがない選手が何人か出場したなかでは、よく頑張ったと思う」と、秋田浩一監督も自分にいい聞かせるように話した。

警告3回：富田湧也(流経大)
 昨年のリーグ戦での対戦はなし

国士大		東国大	
12. 藤崎	10. 進藤	22. 菅原	29. 新間
13. 端	11. 平松		15. 舩田
	8. 松本	9. 福島	8. 上船
30. 大谷			21. 今野
	6. 海野	4. 加藤	
5. 仲島	16. 木下	10. 若井	5. 鈴木
7. 橋	17. 高見	7. 小玉	3. 新地

専修大学 vs 中央大学

4月27日(日)
13:50K.O.
三ツ沢陸上

4試合目で初の引き分けとなった専大。「前半は相手が引いていた状況で、なかなか打開策を見いだせなかった」(源平貴久監督) やはり、守備が堅いチームを崩すのは難しかったようだ。それでも2点を奪っただけに、2-1で逃げ切りたところだったが、「最後の5分がよくなかった」(源平監督) 後半のアディショナルタイムに失点し、勝点2を失ってしまった。「1点目はセットプレー、2点目は個人技とうちらしい攻撃ではなかった。内容的にはよくなかった。2失点したことより、得点が取れなかったことが反省点」(源平監督) 自慢の流れるような攻撃が見られなかった。ここまでの試合でも攻撃面で課題を抱えていただけに、さらに磨きをかけていきたい。開幕から苦しい戦いが続いている中大。「4試合勝てていない。結果を残すようにしていかなければ、前に進めないと思う。今日のゲームのような展開を、しっかりとものにしたい」(白須真介監督) 前節は優勝争いをする早大を相手に、決して悪い内容

ではなかった。「全体的にやろうとしていることは悪くない。3節から比べると、積極性のあるプレーができた」(白須監督) それを、何とか勝点に結びつけていきたいところ。「首位を走っている専大が相手なので、うちのチーム状態からすれば難しい戦いになる可能性はある。しかし、そういう相手だからこそ自分たちがどこまで戦えるかを試して、もう一度、自分たちがしてきたことを整理して戦いたい」(白須監督)

昨年の対戦：前期/専大5-2中大、後期/専大2-2中大

専大		中大	
5. 小口	11. 前澤	11. 古橋	27. 市木
6. 河津	36. 私市	37. 矢島	5. 岡崎
		25. 三島	
1. 福島	8. 星野	9. 山川	21. 置田
			6. 秋元
3. 萩間	22. 大戸	4. 渋谷	15. 縣
2. 北爪	10. 仲川	7. 山田	12. 渡辺

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想